

厚生労働省 令和7年度 老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）

一般社団法人シルバーサービス振興会採択事業

事業名	事業概要
介護職員の技能等に係る評価のあり方に関する調査研究事業	高齢化により介護サービスの需要が更に高まることが見込まれる中で、介護人材の確保と同時に質の向上が急務であるが、我が国では介護技能の標準的な評価指標が十分に整備されておらず、介護の現場では職員の経験や能力によって提供されるケアの質が大きく異なっている。介護職員の専門性の更なる向上のため、介護分野における具体的な技能の評価のあり方等について検討を行う。
利用者の適切なサービス選択に資するための介護サービス情報公表制度のあり方に関する調査研究事業	介護サービス情報公表制度については、利用者による適切な選択によりサービスの質を確保するため、各事業者が提供する介護サービスの内容や質に関する客観的かつ適切な情報の公表を求めているところ。そのため、当該制度において提供される情報は、その正確性が求められるところであるが、公表データの更新が遅れているものが相当程度あることなどから、令和3年6月4日に開催された「行政事業レビュー（公開プロセス）」において、「介護サービス情報の公表制度が、利用者による事業者の適切な評価・選択に資するものであることに鑑み、全ての自治体において適切に情報の更新が行われるような方策を検討すべき」との意見が示されたところである。こうした意見を踏まえ、これまで適切にデータが更新されるよう取組を進め、全国調査を実施した令和4年2月10日時点から直近2年度以上前のデータが公表されている割合は一定程度改善している。しかしながら、自治体別に見ると依然としてデータの更新が進んでいない自治体もある現状がある。こうした背景には、制度改正・報酬改定等に伴う公表内容の増加及び複雑化、調査・公表事務の増加による負担が想定されること。そのため、本調査研究では、公表データが適切に更新されるよう公表内容及び調査・公表事務等の負担軽減等も視野に以下を実施する。(a) 公表内容、調査・公表事務等の現状や課題及び必要な対応等を検討するための検討委員会を設置する。(b) (a)で検討するため、必要に応じてアンケートまたはヒアリング調査等を行い、検討に必要なデータの取得を行う。(c) 報告書を作成。
介護技能実習評価試験の実施状況の把握に関する調査研究事業	平成29年11月に施行された介護職種の技能実習では、技能実習評価試験を平成30年度から実施しており（初級試験）、令和2年度から専門級試験、令和4年度から上級試験というように順次実施。受検者数も増加している。技能実習評価試験の実施状況や実習現場での実態把握を行うことを通じて、技能実習評価試験の課題を把握し、技能実習評価試験をより適正に実施していくための改善策等について検討する。